



主のご復活、おめでとうございます

荒れ野に咲き続ける一輪の花

アリアンス・マリアル 田中 正江

今年の1月10日FMIのシスター高尾が帰天された。私が最後にシスター高尾にお会いしたのは、2019年の7月の初めだった。この年職場の異動が決まっていた私は例年のように町田の黙想の家でAMの年の黙想を行うことが不可能だった。そこでFMIのご厚意の下、7月に調布修道院で年の黙想を行った。黙想の最後の日、思いがけずもシスター高尾が私の部屋にいらして、「貴方はまだこの調布修道院の中を見たことがないだろうから、私が案内してあげる」、そうおっしゃって修道院の中を説明を加えながら案内して下さった。そしてその最後に私達が中庭が見える窓際に佇んだ時、シスターは「この庭は荒れ放題でしょ。以前は私は時々手入れをしていたのだけれど、最近は足が悪くて…またそのうちに足が良くなったらしようと思っただけだけれど…」。そのようなシスターのお話を伺いながら私はその庭に咲き続ける一輪の花に目が止まった。シスターの訃報を伺った時に、私の心に最初に浮かんできたのは、シスターと一緒にFMIの調布修道院の中庭を見ながら語り合った時のことだった。同時に強烈にその時に見た一輪の花が蘇ってきた。何の花だったかは思い出せなかったが、荒れた庭で、凛として美しく咲いていたことははっきりと今でも覚えている。今思えば、その花はシスター高尾そのものだった。



に就任時、韓国に於けるFMI創立の時、そして日本に於いて初めてベトナム人の会員の養成に修練長として携わった時、シスター高尾は私達が想像出来ない程、何度も大きな荒れ野を経験されたに違いない。けれども、常にどのような荒れ野に於いても、シスター高尾独特のユーモアと明るさで一輪の花として周囲の人達に元気と勇気を与え続けられてきたに違いない。そしてその姿は、コロナの問題が発生しても、亡くなられたベタニアのホームでも同様だっただろう。

シスター高尾は亡くなられたが、シスター高尾という花が枯れてしまったのではない、福者メールアデルの帰天日に、アデルによって地上から天上へと植え替えられたのである。そして天国に於いて、一輪の花として、私たちに復活の希望を与え続けてくれている、私は心からそう確信している。

訃報 Sr. マリーアスタ 高尾 チエ

2021年1月10日、東京ベタニアホームにおいて亡くなられました。享年91歳、修道生活63年でした。



シスターは、1962年に終生誓願を宣立された後、管区長、晃華学園理事長・学園長に就任、その後、ソウルにFMIの共同体を設立のために渡韓。そして長いこと、韓国で院長職を歴任されました。

シスターは、困難な要職にあっても笑顔とユーモアを忘れず、広い心で人々を包む情熱あふれるマリアの宣教者でした。

シスター高尾の人生を振り返ってみると、生まれた時から、常に荒れ野に咲き続ける花であったように思う。お生まれになった1929年は世界で大恐慌が起これ、それはその後日本にも及び、世界戦争参入の道りを歩み始め…、敗戦し終戦を迎える…、幼少期から成長期まで、苦勞の連続だっただろう。FMIに入会後の、管区長、晃華学園理事長、学園長

「マリアニスト教育の特徴」の改訂版について

マリア会司祭 青木 勲

『改訂版』 発刊の意図と背景

2020年5月1日付で出された、マリア会の教育局長エッソドナ・マキシマン・マニャン士の監修による改訂版『マリアニスト教育の特徴』について、学校教育に携わっておられ方々との対話と意見交換の共通の場としてこの誌面を借りて三回に分けて記載したいと思います。まずは、読者のあなたもご自分でも手に取ってゆっくりお読みください。

1996年の初版に提示された5つのマリアニスト教育の特徴は、出版から25年経った今でも有効です。その5つの特徴とは、『①信仰を養成するための教育、②全人教育を施す質の高い教育、③「家庭の精神」を基盤とする教育、④奉仕、正義、平和を目指し、被造物の高潔さを教える教育、⑤適応性と刷新、変革を目指す教育である。』

しかしながら、この25年間、私たちを取り巻く生活環境は大きく変わりました。その第一は、教育事業体の経営母体である修道会（マリア会・汚れなきマリア修道会）の会員たちの高齢化と召命不足の結果、果たして教育事業を今後も維持し継続することができるかという深刻な存亡問題です。この問題については、第3回で触れますが、「マリアニスト教育の特徴」に賛同し、支援してくださっている方々と協働と結束によって乗り切りたいと考えます。そのためには今から、一つの同じ土俵に立って、一緒に考えていく姿勢が絶対に必要となります。

その第二は、コンピューターの導入に伴う人々の生活空間とりわけ教育環境そのものが変化したことです。変化への順応力と教育現場に生きる教職員の育成と刷新が課題となります。あらゆる情報を本人の意思で瞬時に検索できるITCの高い効果性を得る

半面、同時に利用者の倫理と責任の大切さを求めます。文科省は、小学校にも2020年度中にITC教育の開設を促して教育環境の刷新と適応を指示しています。実にこの一年間は、コロナ禍に伴い、必要に迫られ対面授業からオンライン形式の授業や会議も定着しつつあり、現場の教師たちには情報取得での円滑な操作技術の向上と同時に情操的円熟さが併せて求められています。

このような文化と歴史の岐路に立って、改めて私は、宗教教育の大切さと難しさを感じながらも児童・生徒に対して科学的真理と宗教的真理の二つの異なる次元での真理と確実性を矛盾することなく学問的理解に宗教的体験を加味させて、より調和のあるキリスト教的人間観を培っていく必要があると痛感しています。コンピューターによって科学的に分析され、生命体として扱われる「自然科学的な人間像」と神の似姿として創造され、キリストの死と復活の神秘によって贖われた「超自然的な人間像」の総合的受容をさせることが急務だと考えます。

最後に、私は、改訂版の行間に込められた真意をつかみ取るには、二つの根本的マリアニスト霊性の光を当てる事だと思いますが、それは次回にお話ししたいと思います。



マリア会ニュース 青木 勲

1. 暁星学園の第二期工事「修道院棟と聖堂棟工事」等の進行。シャミナード修道院と並行して立っていた暁星学園の特別校舎が完全に取り壊され、2022年8月を目指して暁星修道院棟として地下一階、地上3階建ての工事が目下進行中です。この修道院棟の地下と一階部分に、「ミッション・センター」と称する学園以外の方々も利用できる宣教エリア・司牧エリアが考案されているのは嬉しいことです。そして修道院棟の完成後に、小学校側に多目的利用にも供される「学園聖堂」が建設される予定です。

2. 有期誓願者の三人は、将来の宣教活動に備えて、目下教習所通いです。高齢で運転免許証を返上した会

員が多だけに、新しい運転手の誕生が望まれています。でも日本語での法規の学科試験で苦労しています。ベトナムでのバイクのようなジグザグ・ドリブルは日本では通用しないようですね。

3. 4月からの新年度に、夢を膨らませています。まずは、コロナの終息振りが一番気になりますが、5月に院長会議（15～16日）、マリアニストの東京地区の家族の集い（6月20日）、地区会議（8月6～7日）と年の大黙想（8月9～15日）が予定されています。

以上、マリア会の4月のご復活以降の夏休みまでの主な予定表です。

Laity「信徒という存在」

MLC 教育部長 平田 潔

昨年の4月に緊急事態宣言が発出されてからMLC各共同体の活動が止まり、早くも1年が過ぎようとしています。この流れは日本に限らず、世界各地のMLC共同体も同様の状態にあります。唯一この状態を打開する方法としてZOOMによるオンラインの交流、会議などが盛んに行われています。私たちの共同体の中にもこの方法で話し合いを持っている方々もいると伺っています。

日本MLCは北米地域の会議に3か月ごとに参加してきました。もちろんZOOMを使っただけの会議です。その討論の中で、一つの大きな話題としてlaityの在り方が挙げられています。laityの語源はlay + ityですが、layは教会における一般信徒、-ityは名詞を作る語尾です。「一般信徒という存在」程度の意味でしょうか。もう少し詳しく示すと、聖職者と一般信徒が教会を構成する、あるいは教会という信仰に基づく人々の集まりを作り上げています。その前提に立つと、聖職者の在り方はほとんど動くことはないが、一般信徒の在り方についてはかなりの幅があり、その深さにおいて差があるという意見です。MLCの在り方においても同様のことが言えるようです。



▲ ZOOM 会議（聖書を読む会）
毎週金曜日の夜8時から主日の福音を分かち合っています。
気づきも沢山あります。継続している活動です。

先日、国際MLCのBeatrice LeBlanc会長からlaityの役割について考えてみようというアピールがありました。マリアニストのカリスマによる私たちの霊的生活、信仰によるお互いの意見交換など基本的なformationがまず考えられなければならないというアピールです。次回の世界大会（2022年6月頃にスペインのマドリッド）に向けてこれからさまざまな意見・指針が示されるはずですが、私たちは洗礼を受けたカトリックであると同時にマリアニストであることも信仰の土台にあります。ぜひ自らのlaityとしての在り方を見つめたいと思います。

コロナ禍の中で… 世界の人々と歩調を合わせて、 私たちがバーチャル世界を旅して来ました。

1. 臨時バーチャル総評議会の開催

日時：2021年2月18日・22日

参加者：全世界のFMI、

各国の評議員全員：51名

内容：本会の再構成に向けての

各国の意見聴取

2022年夏に行われる総会の準備

2. 世界のFMI 共同体のバーチャル訪問

各共同体は、世界に散らばるFMI全共同体のうち、あまり交流のない2共同体を訪問し、交わりの時を持つようにと総本部からの指示があり、町田の共同体は、ZOOMで、スペイン、マドリッドの共同体を訪問し、日本の創立期に来日された二人の姉妹達と劇的な再会を果たしました。昔懐かしい歌を歌ったり、おしゃべりをしたり…。涙、涙…の嬉しいひと時を過ごしました。



「はーとふるはんど」



MLC 鈴木珠美

「はーとふるはんど」（聾者と健聴者の手話を主体にしたダンス、歌、お芝居の劇団）の公演を観てきました！私は昨年の19回目と今回の20回目の二回見ましたが特に今回はコロナ感染の対策をしっかりとった上での公演の実現。そこに至るまでの大変さを感じて印象に残る回でした。それ以上に見ていて本当に楽しく心がホワッと暖かくなったのも今回。これはリピーター増えるなあ！と感じました。劇団にはソダリティの山口さんと弟さんが入っておられます。



2021年度 黙想会と講座のご案内

今年度、以下の要領で 黙想会と宗教講座を開催いたします。皆様のご参加をお待ちしています。いつからでもご参加いただけます。ご都合の良い時にご参加ください。



種別	No	テーマ・講師	日時・予定
一日黙想会	1	「典礼におけるマリア」	10:00~15:00 詳細は未定
	2	「教会の教えにみられるマリア」	10:00~15:00 詳細は未定
	3	「マリアと教会」 清水一男神父 (SM)	10月24日(日) 10:00~15:00
	4	子供の黙想会 Sr セシリア吉村瑠美子 (FMI)	11月23日(火) 10:00~15:30
祈りのひと時	1	ロザリオの祈り	2021年5月、10月、 2022年2月、学期に1回 13:30~ 詳細は未定
	2	十字架の道行き	2022年、四旬節中の毎金曜日 15:00~
	3	祈りのひと時 ZOOM	毎月、第2日曜日 14:00~15:00 (年11回) 2021年4月11日、5月16日(変更)、6月13日、7月11日、9月12日、10月10日、11月7日(変更)、 12月12日 2022年1月9日、2月13日、3月13日
宗宗教講座	1	聖書を読む会 (FMI)	毎月、第4金曜日 10:00~11:00 (年10回) 2021年4月23日、5月28日、6月25日、7月23日、 9月24日、10月22日、11月26日、12月:休み 2022年1月28日、2月25日、3月25日
	2	み言葉の分かち合い ZOOM	毎月、第3(土) 10:30~11:30 (年11回) 2021年4月17日、5月15日、6月19日、7月17日、 9月18日、10月16日、11月20日、12月18日、 2022年1月15日、2月19日、3月19日
	3	生活の中で信仰を生きる ZOOM	毎月第2(土) 10:30~11:30 (年11回) 2021年4月10日、5月8日、6月12日、7月10日、 9月11日、10月9日、11月13日、12月11日、 2022年1月8日、2月12日、3月12日
	4	マリアニストって何? ZOOM	2021年6月26日(土) 10:30~11:30 (年2回) 11月28日(日) 14:00~15:00
*	その他、黙想者・講座を受け入れています。		
> 4月から、宣教センターは、調布修道院から、町田修道院に移転しました。 〒194-0032 東京都町田市本町田 3050-1 汚れなきマリア修道会 Tel: (042) 722-6301 / Fax: (042) 725-6317 E-mail: marianist@marianist.jp / ホームページ: http://www.marianist.jp/			
> お問い合わせ・申し込み: 上記、Tel、E-mail、Fax、いずれかの方法でお願いいたします。 ZOOMのプログラムへのお申し込みは、e-mailでお願いいたします。			
> お申込の際には、お名前、緊急連絡用のメール アドレス、もしくは電話番号をご記入ください。 講座開始一週間前までにお申し込み下さい。 [担当: Sr 小林]			

訃報

ローザミスティカのエリスさんが

2021年2月1日に帰天されました。林さんは晃華学園のご卒業で同窓会のお仕事もされていた時があり、2001年にマリアニストとして奉獻され MLC の財務部を担当された時期も長くありました。『イエスの徳に生きる』の翻訳作業にも積極的に関わり、その後も多くの見識をお持ちの立場で MLC の規約や基盤を作る上でもご尽力されました。女性的な繊細な心配りができる方で多くの人の思い出に残っております。遺されたご家族の心を思いながらお祈りしたいと思います。

◎ MLC からのお知らせ

MLC としてのホームページがあります。スマホのスタイルで手軽に見ることができます。

URL: <https://www.cafemlc.org>

ホーム (MLC の年間目標、チャレンジ目標、養成プログラム...)、お知らせ、マリアニストの祈り、ブログ、動画などがご覧になれます。

MLC を紹介するときなどに、ご活用ください。



ベトナム語会話



シン チャオ Xin Chào!	こんにちは!(いつでもどこでも使える)
トイ テン ラ Tôi tên là...	名前は……です。
バン コ コア エ コオン Bạn có khỏe không?	お元気ですか?
カム オン トイ コエア Cảm ơn. Tôi khỏe.	ありがとうございます。元気で。
トイ ラ グーイ ニャト バン Tôi là người Nhật Bản.	私は日本人です。

■発行: 日本マリアニスト家族評議会

問い合わせメール: marianist@marianist.jp

ホームページ: <http://www.marianist.jp/>